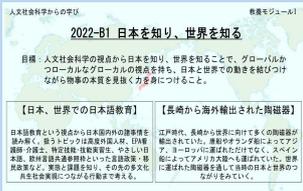


教養モジュール科目案内

カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	22-B1 日本を知り、世界を知る		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	小島 卓也	責任部局	多文化社会学部
趣 旨	グローバル化が広く進展している現在、われわれはこれまで以上に「世界を知る」必要に迫られています。このことは必然的に「日本(と日本人)を知る」ことをわれわれに求めます。他者を理解するためにはまず、自らが何者かという問いに深く思いを巡らさなければならないからです。本モジュールでは、日本、アジア、ヨーロッパ、北南米といった空間軸の間で視野を柔軟に調整しつつ、文化、社会、歴史、芸術、言語、交流、教育、政策などの視点から世界と日本を考察します。そして、多様な他者と同時に多様な自己をも理解することを目指します。そこから、グローバル化にともなっている様々な多文化状況に適應する素養と思考力を身につけることが本モジュールの目標です。		
学生の皆さんへのメッセージ	グローバル化が急速に進むなかで、われわれは社会的・文化的・言語的に多様性を持つ様々な組織の一員として生活し、働くこととなります。「日本を知り、世界を知る」ことは「他者を理解し、自己を省みると同時に相対化する」ことに繋がる知的な営みであり、また、そうした多文化状況で生きていく上で必要不可欠な能力でもあります。本モジュールを受講することで是非そのような力を身につけてください。	説明動画	

科目名	担当者名	概要	キーワード
日本、世界での日本語教育	小島 卓也	日本語教育という視点から日本国内外の諸事情を読み解くことを目指す。日本国内に関しては、高度外国人材、EPA 看護・介護士、特定技能・技能実習生などに目を向け、その実態や課題を知り、「やさしい日本語」の観点から多文化共生社会の実現について考える。日本国外に関しては、政府機関の調査から見える日本語教育の実態や欧州言語共通参照枠といった言語政策・移民政策について理解を深める。	日本語教育、言語政策、移民政策
長崎から海外輸出された陶磁器	野上 建紀	江戸時代、長崎から世界に向けて多くの陶磁器が輸出されていた。唐船やオランダ船によってアジア、ヨーロッパに運ばれただけでなく、スペイン船によってアメリカ大陸へも運ばれていた。世界に運ばれた陶磁器を通して当時の日本と世界のつながりを見ていく。	肥前磁器（有田焼・波佐見焼）、歴史考古学

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	※授業編成の視点	
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	国際・地域社会への関心	A 取り扱う 人文科学の内容を	B 取り扱う 社会科学の内容を
日本、世界での日本語教育	◎				○		◎			◎	◎	○
長崎から海外輸出された陶磁器	◎						◎			○	◎	
◎（特に重視）の数	2	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0
○（重視）の数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	22-B2 現代経済と企業活動		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	林川 万理水	責任部局	経済学部
趣 旨	社会経済の原動力となる企業活動について、その根本課題を考える。企業利益と社会利益の両立はいかになされるか、円滑な資金調達と説明責任の遂行による企業と社会の信頼構築はいかに実現されるかという2つの大きなテーマを考察することにより、社会に生きる企業の在り方を問いながら現代経済と企業活動を学ぶ。		
学生の皆さんへのメッセージ	社会で生きる上で企業活動の恩恵を受けない人は皆無とっていいでしょう。経済を動かすバリュードライバーである企業は、その重要性ゆえに法規によって様々なことが定められています。生かされる企業とはどのようなものかを考え、より良い社会を創造していく第一歩にしましょう。	説明動画	

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
経済活動と社会	高井 計吾	現代経済において、企業は重要な役割を果たしている。それら企業がいかに社会と関わり、目的達成にむけて活動しているのかを、組織、戦略の観点から学ぶ。	経営組織、経営戦略
企業の仕組みと行動	林川 万理水	株式会社が社会から信用を得て資金調達を行い、経済活動を活発に行うためには、情報開示が必要である。企業は企業内情報について多くを知り得る優位な立場にあり、広く社会一般に必要な情報を開示する義務を法的に負う。企業と社会の信頼構築はいかにして可能かを考える。	資金調達、情報開示、信頼構築

教養モジュールの 目標および授業編成 の視点との対応	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	※授業編成の視点	
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	国際・地域社会への関心	A 取り扱う	B 取り扱う
経済活動と社会	◎			◎	◎				○	○		○
企業の仕組みと行動		○	○			○	◎				◎	○
◎（特に重視）の数	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0
○（重視）の数	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	2

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	22-B3 変わり行く社会を生きる 1		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	内野 成美	責任部局	教育学部
趣 旨	社会の変化は、これまで私たちが経験したことのない速さで、かつ大規模に進んでいます。本テーマでは、私たちの身近に起こっている社会の変化を、心理、社会、多様性の理解、そして価値観という4つの視点から紐解いていきます。そして、変化する社会の中でいかに生きるか、また将来目指すべき社会の姿やよりよく生きる自分の姿について考えます。		
学生の皆さんへのメッセージ	今の社会、ひいては将来の社会の姿を作っているのは、私たち一人ひとりです。しかしその私たち一人一人は異なる意識や視点、経験を持っています。そうした“個”を意識するとともに、社会という“集団”の中で対応する力をつけるべく、本モジュールでは、私たちが生きる社会の変化について学び、これからの社会の在り方について考える機会にしましょう。	説明動画	

科目名	担当者名	概要	キーワード
心と社会	内野 成美	臨床心理学の視点から、コミュニケーションや多様性への理解を深める。また、発達障がい、対人緊張など、様々な対人関係の困難が生じる事例をもとに、カウンセラーの役割を知り、相談の意義を理解する。	カウンセラー、傾聴、社会人基礎力、臨床心理学
社会とマスメディア	矢野 香	ことばや映像を活用して社会にメッセージを発信する新聞、ラジオ、テレビ、インターネットを取り上げ、その中でのことばの使い方や映像の工夫などを理解するとともに、それらを批判的に受け取り、論理的に考える態度の育成を図る。	マスメディア、マイメディア、新聞、ラジオ、テレビ、インターネット

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	① 知識・技能	② 主体性	③ 情報リテラシー	④ 論理的組み立て	⑤ 批判的検討	⑥ 倫理観	⑦ 多様性の理解	⑧ 協働性	⑨ 考えるやり取りする力	⑩ 国際・地域社会への関心	※授業編成の視点	
											A 取り扱う 人文科学の内容を	B 取り扱う 社会科学の内容を
心と社会	○	○			○	○	◎	◎	◎		○	○
社会とマスメディア	○	◎	○	○	○	◎	○			○		○
◎（特に重視）の数	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0
○（重視）の数	2	1	1	1	2	1	1	0	0	1	1	2

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

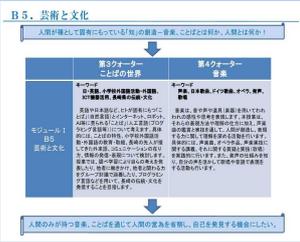
カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	22-B4 現代の教養		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	工藤 哲洋	責任部局	教育学部
趣 旨	21世紀のグローバル社会を生きる人々には、たんに自己の専門分野の知識を深めるだけではなく、ひろく人文・社会科学や自然科学に関係する基礎知識や研究方法を身につけ、真の意味での教養人であることが要求されます。本モジュールでは、モジュール I の各科目で人文科学・社会科学・自然科学の基礎知識や研究方法を修得したのち、各自の関心に応じて、それぞれの分野でより深い知識や研究態度を身につけることができるように、モジュール II の科目を選択できるようになっています。		
学生の皆さんへのメッセージ	特定の知識や観点到に偏らず、ものごとに対する広範な知識とそれを考察するための多面的な研究態度を身につけ、現代を生きる教養人をめざしてください。	説明動画	

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
文化と社会	田口 由香 中島 貴奈	明治維新期の歴史や文学を学ぶことで、日本の近代国家形成と国際関係を理解し、現代のグローバル化に対応する力を養う。	明治維新、歴史、文学
自然の科学	工藤 哲洋	教養としての天文学を学ぶ。宇宙と自分とのつながりを認識し、自然との関わり力を培う。	宇宙、恒星、地球

教養モジュールの 目標および授業編成 の視点との対応											※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	関心	国際・地域社会への	取り扱う 人文科学の内容を
文化と社会	○	○					○			○	○	
自然の科学	◎	◎		◎	○			○	○			○
◎（特に重視）の数	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
○（重視）の数	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	22-B5 芸術と文化		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	松元 浩一	責任部局	教育学部
趣 旨	<p>21 世紀のグローバル社会を生きる今日の学生には、単に自己の専門分野の知識を深めるだけでなく、ひろく人文・社会科学や自然科学に関係する基礎知識や研究方法を身につけ、さらに、国立大学の学生として、芸術も理解・表現できるような、真の意味での教養人であることが求められている。</p> <p>本モジュールでは、人文・社会科学・教育科学の基礎知識や研究方法、芸術の理解・表現方法等について、大学生に求められる教養や知識や研究態度を涵養することを目的として開設する。</p>		
学生の皆さんへのメッセージ	特定の知識や観点到に偏らず、ものごとに対する広範な知識とそれを考察するための多面的な研究態度を身につけ、21 世紀を生きる教養人を目指してほしい。	説明動画	

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
ことばの世界	松元 浩一 中村 典生 倉田 伸	英語や日本語を初めとする「ことば」を題材にし、コミュニケーション上有用な ICT 機器の活用も含めて、現代に生きる人間活動の諸問題をことばと情報の観点から考察する。	日・英語、外国語活動、ICT 機器活用、長崎県
音楽	宮下 茂	声楽曲やオペラ作品等を取り上げ、歴史や風土との関りを知り、音楽作品を鑑賞し理解を深める。発声の仕組みを知り、自分の声を活かして歌唱や音読で表現をする。	声楽、日本歌曲、唱歌・童謡、ドイツ歌曲、オペラ、発声、歌唱

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	① 知識・技能	② 主体性	③ 情報リテラシー	④ 論理的組み立て	⑤ 批判的検討	⑥ 倫理観	⑦ 多様性の理解	⑧ 協働性	⑨ 考えるやり取りする力	⑩ 国際・地域社会への関心	※授業編成の視点	
											A	B
											取り扱う 人文学科の内容を	取り扱う 社会科学の内容を
ことばの世界	◎	◎	◎	○	○			○	○	○	◎	○
音楽	◎	○	○				○			○	◎	○
◎ (特に重視) の数	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
○ (重視) の数	0	1	1	1	1	0	1	1	1	2	0	2

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	22-B6 ICTの仕組みと活用法		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	古賀 掲維	責任部局	ICT 基盤センター
趣 旨	今、私たちの身の回りには優れた性能をもったコンピュータが溢れている。コンピュータや情報通信を自由に使いこなすことによって、一見不可能と思える問題を解決することができる。本モジュールでは、コンピュータの助けを借りて問題解決ができる能力(計算論的思考: Computational Thinking)を養うことを目的に、情報通信・ネットワークの仕組みやプログラミングについて学ぶ。		
学生の皆さんへのメッセージ	必携パソコンや情報機器をさらに使いこなせるようになりたい学生の皆さんを歓迎します。是非、本モジュールで必携パソコンをより身近なツールとしてください。	説明動画	

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
情報通信とコンピュータネットワークのしくみ	柳生 大輔	コンピュータやネットワークの要素技術や規格・プロトコル等のアイデアを知ることにより、システムや構成要素がどのような仕組みで稼働しているか、どのような性能や信頼性をもって稼働しているかを理解することを目標とする。また「長崎」の通信の歴史におけるかかわり、離島・へき地における通信について学ぶ。	情報通信、コンピュータネットワーク、プロトコル、信頼性、長崎県
プログラミング入門	古賀 掲維	Python(パイソン)というプログラミング言語を用いて、プログラミングの基礎を学ぶ。また、基本的なアルゴリズムについて Python を用いてプログラムを作成する。さらに、Python を用いた AI プログラミングにも挑戦する。	プログラミング、アルゴリズム、人工知能(AI)

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	③	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	※授業編成の視点	
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	国際・地域社会への関心	A 取り扱う 人文科学の内容を	B 取り扱う 社会科学の内容を
情報通信とコンピュータネットワークのしくみ	◎	○	◎		○		◎		○	◎		○
プログラミング入門	◎	◎	◎	◎	◎			○			○	
◎ (特に重視) の数	2	1	2	1	1	0	1	0	0	1	0	0
○ (重視) の数	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	22-B7 日本から世界へ (英語開講)		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	清田 智子	責任部局	グローバル連携機構
趣 旨	Think globally, act locally というフレーズは元々環境問題への対応から生まれましたが、一国の外交・安全保障や開発問題を考える上でも非常に重要な視点です。各国がそれぞれの国益のために動けば、世界は再び軍事力に支配される戦争ばかりの状態になるでしょう。世界中の国々がそれぞれの地域全体や世界全体の平和、繁栄、安定のことを考えて動けば、海上交通路やサプライチェーンも円滑に回り国際経済が発展していき、やがて一人ひとりの生活が豊かになっていくはずですが。さらに、日本は依然として GDP 総額で世界第 3 位の経済力を有しており、国際社会では他国よりも多くの貢献が求められています。このモジュールでは、日本の外交・安全保障や開発援助を世界的な視点から捉えなおし、日本が自国の国益を維持しつつ国際社会の平和、繁栄、安定に寄与するにはどうすれば良いか一緒に考えていきます。		
学生の皆さんへのメッセージ	このモジュールでは、実際に開発や外交の現場で働いてきた講師が、より実践的な内容を実践的な英語で講義します。Act locally にとどまらず Act globally を目指す方は、是非講師と一緒に英語も鍛えましょう。 ※このテーマの科目はすべて英語で授業が実施されます。 テーマを選択した後に、1年生の途中でテーマを変更することはできませんので、ご注意ください。	説明動画	

科目名	担当者名	概要	キーワード
Japan's Foreign and National Security Policy	清田 智子	日本の外交・安全保障問題で特に議論が分かれる問題を取り上げ、日本の進むべき道を議論します。	同盟、集団的安全保障、領土問題、国連、海洋秩序、難民問題
Introduction to International Development	青木 恒憲	国際協力に関する主要な概念、課題、仕組み、アクター、日本の実例を学び、開発途上国との関わりを議論します。	国際協力、開発援助、SDGs、貧困、JICA、ボランティア、民間連携

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応											※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	関心	国際・地域社会への	取り扱う 人文科学の内容を
Japan's Foreign and National Security Policy	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	◎
Introduction to International Development	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎
◎ (特に重視) の数	0	0	1	2	1	0	1	1	2	2	0	2
○ (重視) の数	2	2	1	0	1	2	1	1	0	0	2	0

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目